

第2回福知山市新文化ホール 事業運営計画検討委員会

2024（令和6）年2月27日（火）

14:00～16:00

福知山市厚生会館 中会場

もくじ

1. 第1回協議内容の確認と今後の進め方
2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について
3. 市民意見聴取とシンポジウム（ワークショップ）
の開催について
4. 事業について

1. 第1回協議内容の確認と今後の進め方

1. 第1回協議内容の確認と今後の進め方

新文化ホールで行うソフト事業・コンテンツの概要について

- ・生活と文化芸術がどう結びついていくかを考えて市民の関心を高めることが大切。
- ・周辺の公共施設や商業施設と連携すれば、もっと芸術が身近に感じられるようになるのではないかな。

管理運営の方向性について

- ・まず自主事業やホール運営を行うには専門家や専門職員が絶対に必要である。
- ・しばらくは市が直営で責任をもって市民と付き合うほうがいいと思う。指定管理に出してしまったら、文化振興ではなくコストの削減だけが目標の施設運営になる懸念がある。
- ・開館までのイベントの計画を含めて考えるコーディネーターを早い段階に備えること。
- ・福知山ならではの事業展開を考えていくのが本来である。
- ・スーパースターを呼んでくるための施設ではないことを明確に伝えておかないと議論が堂々巡りになる。

シンポジウム・市民意見の聴取について

- ・参加者同士で話し合ったり、議論もできるような場にしていくべきである。

2. 管理運営（直営と指定管理）の 方向性と課題について

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

■全国の類似規模自治体の公立文化施設の概況

1. 福知山市の財政力指数（0.52）を基準に、前後の0.49～0.61の自治体を抽出
→367団体が該当
2. さらに、367団体のうち、人口が40,000人～110,000人の自治体を抽出
（福知山市の人口の前後4万人程度）
→114団体が該当
3. 当該団体が設置している公立文化施設のうち、全国公立文化施設協会に加盟する173館の運営について調査
直営：68館
指定管理者：105館
（うち外郭団体等で運営されている館が55館、民間が33館、その他NPO等が18館）

全国公立文化施設協会：国及び地方公共団体等により設置された全国の劇場・音楽堂等の文化施設の連携のもと、地域文化の振興と文化芸術の発展に寄与することを目的とした団体。令和6年2月6日現在、日本全国の公立文化施設1,313施設が正会員となっている。

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

直 営

市が直接、施設の管理運営を行う。
舞台技術のように市職員のみでは対応の難しい、専門性の高い業務については、民間に委託したり、専門家を雇い入れたりするケースもある。

メリット

- ・市の方針を施設運営に反映しやすい
- ・自治体内の他分野や地域、住民との連携が容易
- ・開業直後の管理経費等を詳細に把握可能
→将来的に指定管理導入の場合も移行がスムーズ

デメリット

- ・経営視点やコスト削減の意識を持ちにくい
- ・職員の異動により運営ノウハウが継承されづらい
- ・単年度予算のため長期展望が図りづらい

指定管理

公の施設をノウハウのある民間事業者等が管理する制度。
財団等の各種団体や民間企業、NPO等が、単独、または共同企業体を構成して指定管理者となる。

メリット

- ・指定期間全体を見通した予算計画
- ・民間ならではの効率的な創意工夫、コスト削減意識
- ・専門人材による質の高いサービス提供

デメリット

- ・指定管理者の交代により運営ノウハウや継続事業が途切れる可能性
- ・自治体内の他分野や地域、住民との連携には市の協力が不可欠
- ・利益追求のため公益的事業が疎かになる可能性

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

■ベンチマーク施設の選出方法

1. 類似規模自治体自治体が有する公立文化施設のうち、特に新文化ホールの取り組みの参考となり得る施設を全国から抽出。
2. さらに、福知山市の財政力指数（0.52）や人口規模（約7.6万人）のいずれかが類似する自治体や近隣施設を抽出。

【参考】新文化ホールの取り組みの参考となり得る公立文化施設

自治体名	人口 (令和4年度)	財政力指数	施設名	開館年	座席数	運営方式・運営主体
宮城県 仙南地域 (2市7町で構成される広域行政推進地域)	16.6万	0.44	仙南えずこホール	1996	802	直営
宮城県 加美町	2.1万	0.34	中新田バッハホール	1981	780	直営
黒部市	4.0万	0.63	黒部市国際文化センター コラーレ	1995	886	指定管理 指定管理者 ：(公財)黒部市国際文化センター
氷見市	4.3万	0.46	氷見市芸術文化館	2022	800	指定管理 指定管理者 ：(一財)氷見市文化振興財団
小美玉市	4.9万	0.59	小美玉市 四季文化館みの〜れ	2002	600	直営
茅野市	5.5万	0.55	茅野市民館	2005	780	指定管理 指定管理者 ：(株)地域文化創造
長久手市	4.3万	1.04	長久手市文化の家	1998	717	直営
西脇市	3.8万	0.45	西脇市市民交流施設オリナス	2021	602	指定管理 指定管理者 ：(株)ケイミックスパブリックビジネス
新宮市	2.7万	0.36	新宮市文化複合施設 丹鶴ホール	2021	801	直営
四万十市	3.1万	0.35	しまんとびあ	2024	805	指定管理 指定管理者 ：(株)ケイミックスパブリックビジネス
佐伯市	6.7万	0.33	さいき城山桜ホール	2020	810	直営

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

福知山市の財政力指数（0.52）や人口規模（約7.6万人）の両方、もしくはいずれかが類似する自治体や近隣施設を抽出したベンチマーク施設リスト

	ベンチマーク施設	所在地	財政力 指数	人口 (R4年)	運営方法
①	小美玉市四季文化館 みの〜れ	茨城県 小美玉市	0.59	4.9万人	直営
②	長久手市文化の家	愛知県 長久手市※1	1.04	6.1万人	直営
③	さいき城山桜ホール	大分県 佐伯市	0.33	6.7万人	直営
④	茅野市民館	長野県 茅野市	0.55	5.5万人	指定管理 (株式会社地域文化創造)
⑤	氷見市芸術文化館	富山県 氷見市	0.46	4.3万人	指定管理 (一般財団法人氷見市文化振興財団)
⑥	西脇市市民交流施設 オリナス	兵庫県 西脇市※2	0.45	3.8万人	指定管理 (株式会社ケイミックスパブリックビジネス)

※1人口のみ類似

※2 近隣自治体

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は全て公式HPより引用

ベンチマーク施設①

小美玉市四季文化館 みの～れ



▲文化情報紙の発行や舞台技術サポートでも住民ボランティアが活躍

所在地	茨城県 小美玉市
人口（R4年）	49,224人
財政力指数	0.59
開館年	2002年
運営者	直営
最大ホール席数	600席
施設構成	森のホール、風のホール(300席)、練習室×3、和室、風の広場 等
主な取り組み	ボランティア組織（4部門6組織）、自主事業の実行委員会（6チーム）、自主事業企画を選定する企画実行委員会等、様々な形での住民参画がなされてきた。また、小美玉市では2012年より「小美玉市まるごと文化ホール計画」により、みの～れを含む市内3館を文化活動の拠点として文化を広げていくための戦略がとられている。



▲2023年11月には住民参加組織の再編が行われたばかり

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は公式HP及びContiNEW公式Instagramより引用

ベンチマーク施設①

小美玉市四季文化館 みの～れ <若い世代の活躍>

■ 演劇ファミリーMyu(みゅう)



- 2002年の開館に合わせて設立され、現在まで活動を続けるみの～れ住民劇団。小学1年生から入会可能で、小学生～70代まで約80名が登録している。
- 脚本・演出・作曲も団員たちが行い、照明・音響・美術などの裏方にも携わる。
- 中でも子どもたちは出演者として多く活躍しており、子ども向けのミュージカル体験会を開催するときには劇団員の子どもたちがワークショップをサポートするなど、劇団の一員として貢献している。

■ 「はじめての金管楽器教室」講師



- 2022年に結成され、茨城県内で活動するマーチングパフォーマンスグループContiNEWが、みの～れの自主事業である小学生向け金管楽器教室の講師を務めている。
- グループの主宰者・鴨志田氏は2001年生まれ。その他のメンバーも20代が中心で、パフォーマンス活動だけでなく指導者としても活躍の幅を広げている。

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は全て公式HPより引用

ベンチマーク施設②

長久手市文化の家



所在地	愛知県 長久手市
人口（R4年）	60,985人
財政力指数	1.04
開館年	1998年
運営者	直営
最大ホール席数	717席
施設構成	森のホール、風のホール(292席)、光のホール(82席)、展示室、舞踊室、音楽室×3、美術室、多目的室、暗室、和室×2、食文化室、講義室×2、会議室×5 等
主な取り組み	若手アーティストを支援する契約アーティスト制度「創造スタッフ」「フランチャイズアーティスト」のほか、自然環境、福祉等の分野との連携、文化の家を拠点とする市民団体の支援等を行っている。



▲創造スタッフの企画・出演によるパフォーマンスやワークショップ



▲自然環境や福祉分野との連携プロジェクトを展開

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は公式HP及び「2021年度（令和3年度）長久手市文化の家年報」より引用

ベンチマーク施設②

長久手市文化の家 <アウトリーチ> <文化と他分野との連携>

■ アウトリーチ事業「であーと」

■ 「男のサクスカフェ」 「初クラ講座」

長久手市文化の家アウトリーチ事業



- 次世代を担う子どもを始め、生の舞台公演や芸術作品をあまり鑑賞しない市民、都市部まで足を運ぶことが困難な高齢者など、文化芸術に触れることが少ない市民を対象に、市内各地に出向いて行う普及啓発事業。
- 福祉事業（ふくしであーと）では、地域のアーティストが特別養護老人ホーム、グループホーム、障がいのある人のためのデイサービスなど様々な福祉施設を訪問し、演奏等を行う取り組みをH30年から展開。近年は300人／年以上が鑑賞している。

- 文化芸術×福祉事業の一つとして、定年退職前後の方に向けて新しい趣味としてクラシック音楽を聴くきっかけづくりや、音楽を通した仲間づくりをお手伝いする講座を実施。
- 「男のサクスカフェ」では、55歳以上の男性を対象としたサクスカ教室を開講。2019年度には12名が参加し、今後は修了生が講座運営にも関わっていくことが期待されている。
- 「初めてのクラシック講座 初クラ講座」では、2019年度に全6回の講座を開催。のべ241人が参加した。

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は公式HP及び「さいきっちNEWS」YouTubeチャンネルより引用

ベンチマーク施設③

さいき城山桜ホール



所在地	大分県 佐伯市
人口（R4年）	67,126人
財政力指数	0.33
開館年	2020年
運営者	直営
最大ホール席数	810席
施設構成	大ホール、小ホール(138.5㎡)、スタジオ×5、会議室×2、和室×2、創作工房、食のまちづくりスペース、屋外広場 等
主な取り組み	自主事業の受付・案内や映画上映企画、館内装飾等それぞれを担うサポートスタッフのグループが活動している。中学生・高校生が集まりイベントを企画する取り組み等も行っている。

▲毎年サポーター募集が行われる。研修制度もあり



▲中高生が企画から出演、運営まで行う“SAKUフェス”

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は公式HP及び「デジタル広報さいき」より引用

ベンチマーク施設③

さいき城山桜ホール <市民参加の推進> <若い世代の活躍>

■桜ホールサポーター



- 企画サポートグループ、公演サポートグループの2つのグループに分かれており、企画サポートグループでは、『ツキイチ映画』の企画・運営、『館内装飾』の企画・準備・設営を、公演サポートグループでは、イベント当日の会場運営・レセプションист、チケットもぎり、客席案内等を行う。
- 高校生から高齢者まで、幅広い世代の方が自分に合った形でホールに関わっている。

■SAKURAプロダクション



- ホールの中高校生サポーター「SAKUプロ」が活動。20歳以下の若者によるイベント「SAKUフェス」の企画・運営などに取り組んでいる。
- 主な活動内容は、中高生が施設を利用しやすい環境づくりに向けた検討・提案や、普段から文化活動に取り組みやすい場・成果発表ができる場づくり、中高生企画によるイベントの開催・運営など。
- 参加者に対しては、地域活性化につながる活動に寄与した証明として「ボランティア活動証明書」を発行している。

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は全て公式HPより引用

ベンチマーク施設④

茅野市民館



▲サポートCの提案による工作ワークショップの作品展示や公募写真展

所在地	長野県 茅野市
人口（R4年）	54,637人
財政力指数	0.55
開館年	2005年
運営者	(株)地域文化創造
最大ホール席数	780席
施設構成	マルチホール、コンサートホール(300席)、茅野市美術館、アトリエ、スタジオ×2、イベントスペース、図書室、中庭・東広場 等
主な取り組み	市民が中心となって作られたNPO法人「サポートC」が館と協働し、自主事業の企画・運営や友の会の運営、サポーター活動の窓口、市民の文化活動のサポート等を実施。また館では市民からの自主事業提案を毎年受け付けている。



▲自主事業を提案する市民は「よりあい劇場」でアイデアを発表

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は茅野市縄文プロジェクト公式HP、館公式HPより引用

ベンチマーク施設④

茅野市民館

<地域独自の文化づくり> <市民参加の推進>

■縄文アートプロジェクト



- 茅野市には縄文の文化遺産が多数あり、これをまちづくりに活かすこと、また縄文人の生き方の中に現代人の生き方や社会の課題解決の糸口を求める「縄文プロジェクト」を推進しており、茅野市民館では2016年に「縄文アートプロジェクト」を始動、2017年には第2弾を実施した。
- もともと、地元出身の建築家・藤森照信氏と市民館敷地内での茶室づくり・移設等のプロジェクトに取り組んでいる。また、館内での作品展示や地域と連携したアート展示などを展開した。

■事業アイデア募集



- 2014年から名前を変えながら続いている、個人から団体まで様々な市民から事業アイデア募集する企画。
- 実際に館でPowerPointや実際のパフォーマンスを交えたプレゼンテーションを行い、来年度に行いたい企画を提案する。提案された企画は市民と有識者等で構成される「事業企画会議」にて検討され、取締役会にて承認を受け、来年度に実施する事業が決定する。

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は全て公式HPより引用

ベンチマーク施設⑤

氷見市芸術文化館



▲1階はイベントスペースや駐車場とし、ホールを2階に配置



▲交流室前のカウンターはコンセント・フリーWi-Fiを完備している

所在地	富山県 氷見市
人口（R4年）	43,296人
財政力指数	0.46
開館年	2022年
運営者	一般財団法人氷見市文化振興財団
最大ホール席数	800席
施設構成	ホール、マルチスペース、交流室×3、スタジオ×2、交流工房、交流ラウンジ 等
主な取り組み	本施設の開館に際し、市の出資により一般財団法人が設立され、指定管理者として運営を担っている。浸水被害対策のため高さ5mのピロティ方式とし、ホールを2階に配置。令和6年度能登半島地震では1月1日から6日まで避難所となった。

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は全て公式HPより引用

ベンチマーク施設⑤

氷見市芸術文化館

＜日常的に居心地の良い空間づくり＞
＜地域独自の文化づくり＞

■ フリースペース、学習室としての開放



- 交流室前に設置されているカウンターをフリースペースとしており、電源やフリーWi-Fiが完備されている。飲食も可能となっており、学生の学習場所として活用されている。
- カウンターが混みあっており、諸室の利用がない場合は諸室を学習室として一部開放している。

■ オリジナル音楽劇ワークショップ



- 氷見をテーマにオリジナル音楽劇の創作を目標に、毎週土曜日に小学生～高校生を対象としたワークショップを開催。2023年8月に第1回公演を実施し、2024年度も上演に向けワークショップを重ねている。
- 毎週連続して開催することで、施設が子どもたちの日常的に通う場所となっている。

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は全て公式HPより引用

ベンチマーク施設⑥

西脇市市民交流施設オリナス



所在地	兵庫県 西脇市
人口（R4年）	38,218人
財政力指数	0.45
開館年	2021年
運営者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
最大ホール席数	602席
施設構成	ホール、スタジオ×11（練習室、運動室、調理室等を含む）、ラウンジ、テラス、カフェ
主な取り組み	市庁舎と併設された施設で、ホールは平土間にもなる可動式の座席となっている。ホールの主催公演としては鑑賞事業やカルチャー教室、市内の他公共施設でのアウトリーチコンサート等を行っており、更に指定管理者とは別に市や市の外郭団体が主催し、別途事業を行っている。



▲指定管理者による主催公演



▲主催事業として、ヨガなどのカルチャー教室を行っている

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

※図表は全て公式HPより引用

ベンチマーク施設⑥

西脇市市民交流施設オリナス <アウトリーチ> <子どもたちへの機会提供>

■市内の他公共施設でのアウトリーチ



■市の主催する事業



- ホールまでの来場が難しい方々に向けて、市内の他公共施設を会場に、アウトリーチコンサートシリーズを開催。
- 入場無料、予約不要であり、民謡やポップス、アニメの音楽等を中心とした曲目で、気軽に足を運べるコンサートとしている。

- 指定管理者による事業とは別に、市と教育委員会が主催し、市の外郭団体である公益財団法人西脇市文化・スポーツ振興財団が実施主体となり、文化事業を行っている。
- 劇団四季のファミリーミュージカルやズーラシアンプラスによる親子向け公演等、子どもたちへの鑑賞機会の提供に重きを置いた事業を行っている。

2. 管理運営（直営と指定管理）の方向性と課題について

新文化ホール 管理運営のポイント（基本計画より）

- 若い世代を中心とした市民参加の促進
- アウトリーチやワークショップ等、長期的な視点での投資効果を狙う事業の実施強化
- 福知山市独自の文化づくり
- 文化と他分野との連携による、まちの活性化



福知山市の現状（第1回委員会における事務局の発言より）

- 文化系の財団や民間企業等、文化施設の指定管理業務に対応可能な市内の事業者が存在しない
- 市内での例がない自主事業が中心の施設となるため、特に開館当初は指定管理者（市外事業者）による安定的な運営が難しい部分が多い



第一回委員会でのご意見

- 指定管理と直営の○や×は、館の目指すところによって変化する。
- 直営が良いとははっきりと言えないが、指定管理者制度により効率性のみが求められるのは望ましくない。
- 近年、全国的に指定管理者制度の見直しの機運が高まっている。
- コスト第一主義を見直し、市が責任をもって直営方式で運営するのが良いのではないかと。
- 直営の場合、基本計画に記載した市と市民をつなぐコーディネーターとしての機能を補う必要だろう
- 指定管理者制度では他市と同等の事業が期待できると基本計画にあるが、福知山市ならではの事業展開を行っていくのが本来である。なお、新規に財団を作るのはあまり例がない。

3. 市民意見聴取とシンポジウム（ワークショップ）の開催について

3. 市民意見聴取とシンポジウム（ワークショップ）の開催について

連続フォーラム 実施概要（案）

実施時期：2024（令和6）年4月以降

実施回数：全4回程度

構成：第1回～第3回は2部構成を想定。
（第1部は講演、第2部はワークショップ）

第4回は体験型ワークショップを想定。
（新文化ホールの事業イメージと絡めて実施）

3. 市民意見聴取とシンポジウム（ワークショップ）の開催について

連続フォーラム 講師候補

※講師候補はイメージであり、打診前の方を含みます。

第1回 実施時期：4月下旬

テーマ：社会包摂×文化芸術

講師：福祉との連携に取り組むアートディレクター等
(候補：栗栖良依氏（SLOW LABELディレクター）ほか)

第2回 実施時期：5月下旬

テーマ：地域×文化芸術①

講師：地域と深く結びついた劇場・ホールの芸術監督・館長等経験者等
(候補：串田和美氏（前まつもと市民芸術館芸術監督）、
渡辺弘委員（岡山芸術創造劇場ハレノワ プロデューサー）ほか)

第3回 実施時期：7月中旬

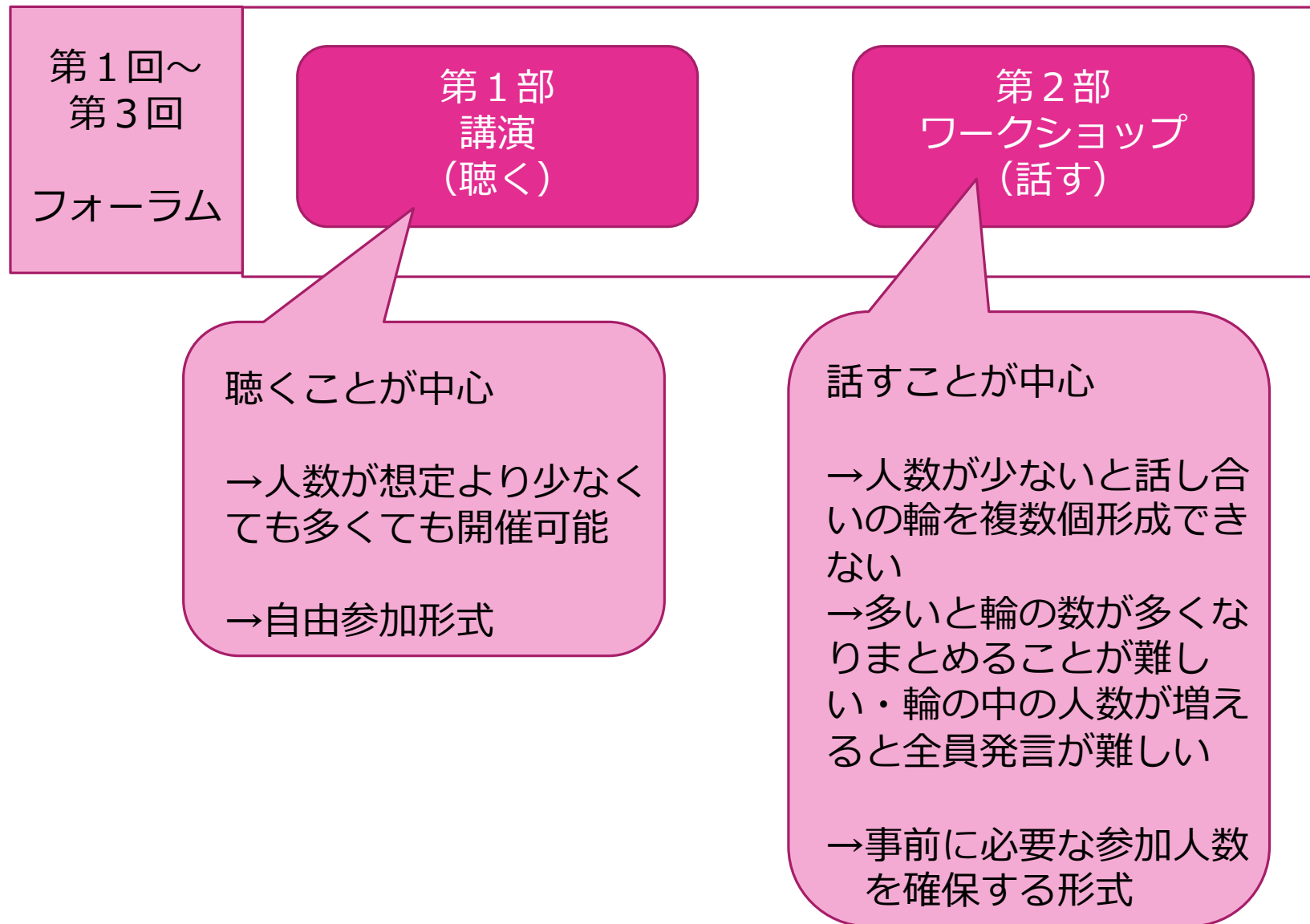
テーマ：地域×文化芸術②

講師：先進的な運営を行っている直営館の職員・担当者等
(候補：出口亮太氏（長崎市チトセピアホール館長）、
高橋和孝氏（さいき城山桜ホール総括主幹）ほか)

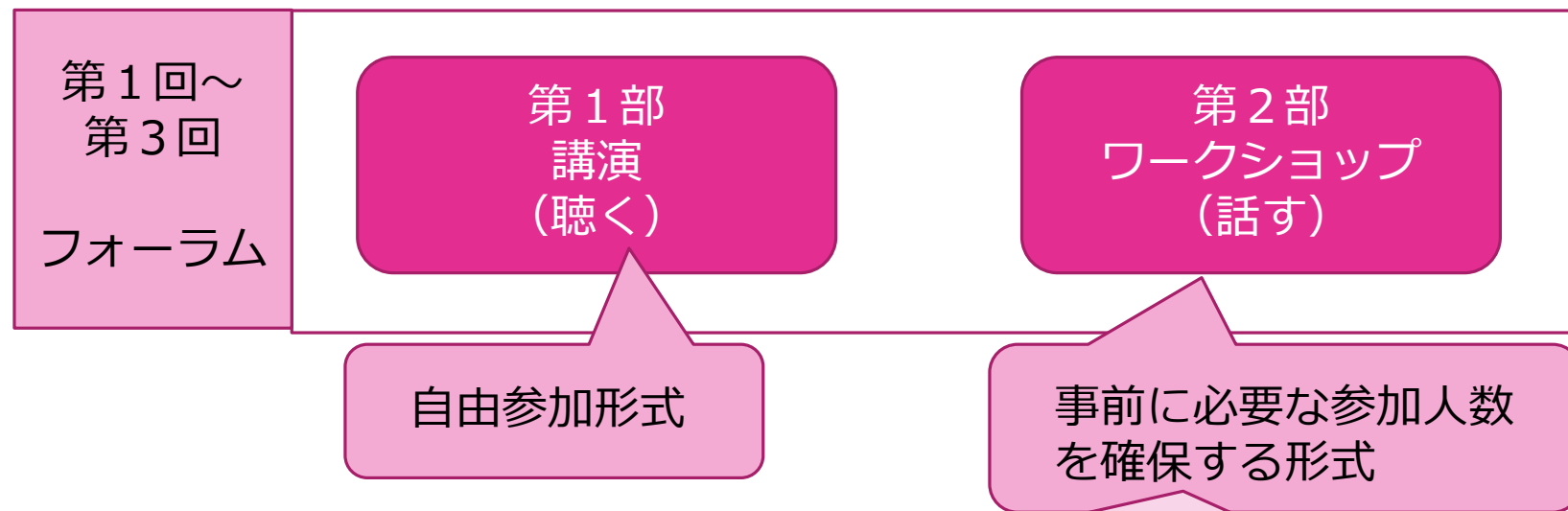
第4回 実施時期：8月下旬

体験型ワークショップ

3. 市民意見聴取とシンポジウム（ワークショップ）の開催について



3. 市民意見聴取とシンポジウム（ワークショップ）の開催について



基本構想・計画策定時のワークショップ・市民説明会は賛成/反対
など本事業に関心のある市民が参加
→本事業を知らない・関心が無い層にはまだリーチできていない
→無作為抽出で参加者30人前後を確保
（過去無作為抽出では送付者の約1.8%が参加希望。ここから当日
欠席が発生する。→参加者を30人前後確保するなら欠席も加味
して50人前後の参加希望者を確保）
→無作為抽出で3000人に案内を送付することで50名前後の参加
希望者を確保（メンバー継続、1000円前後のインセンティブ）

4. 事業について

4. 事業について

文化振興基本方針と新文化ホール基本計画の関連と事業検討のための視点

福知山市文化振興基本方針より 基本施策

- 1 文化への関心を高める取組
- 2 市民の自主的な文化活動への支援
- 3 文化資源のまちづくりへの活用
- 4 文化活動のマネジメント
- 5 文化活動の基盤となる施設
- 6 大学・文化団体等の諸団体との連携
- 7 文化財・伝統文化の調査・保存
- 8 文化資源の付加価値をつけた活用
- 9 市民協働による文化の継承

福知山市新文化ホール基本計画より 「管理運営の基本的な考え方に基づく事業の方向性」 (自主事業)

- 1) 文化芸術と市民を「つなぐ」ための多様な鑑賞機会、体験機会の提供
- 2) 若い世代が中心となって人と人を「つなぐ」懸け橋となるための市民参加の推進
- 3) 過去・現在・未来へと続く「つながり」のきっかけをつくるための、日常的に居心地の良い空間づくり
- 4) 福知山市の豊かな歴史資源と文化資源を「つないで」生まれる独自の文化づくり
- 5) 文化の力を活かして文化と他分野を「つなぎ」、まちを活性化する連携事業の推進

事業検討のための 視点

① 社会包摂

② 若い世代の
参加

③ 子どもたち
への機会提供

④ 独自の文化
を育む

⑤ 地域との
連携

4. 事業について

視点① 社会包摂 多様な市民の誰もが尊重され、参画する

事例

施設名	設置者	事業名	目的	概要
彩の国さいたま芸術劇場	埼玉県	障がい者ダンスチーム「ハンドルズ」公演	第一線で活躍するアーティストによる、障害を持つ方々の体験・参画機会の創出	ダンサー・振付家・さいたま芸術劇場芸術監督の近藤良平氏の演出による、個性あふれるダンス公演。
可児市文化創造センターala	岐阜県可児市	多文化共生プロジェクト	様々な国にルーツを持つ方々の体験・参画機会の創出と相互理解の促進	参加者へのインタビューを元につくる「ドキュメンタリー演劇」を、様々な国にルーツを持つ参加者と創作。2007年から開催している。
さいき城山桜ホール	大分県佐伯市	さいきワールドフェスタ	様々な国にルーツを持つ方々との交流の場づくり	技能実習生によるダンスや「世界のカレー食べ比べ」、「いろんな言語で自分の名前を書こう！」等、国籍や言語の壁を超えた交流を生んだイベント。



▲さいき城山桜ホール「さいきワールドフェスタ」

4. 事業について

視点② 若い世代の参加 若い世代が中心となって活躍していくために

事例

施設名	設置者	事業名	目的	概要
北九州芸術劇場	福岡県 北九州市	大学演劇ラボ	大学生の文化活動を支援	大学生を対象に期間限定の劇団を結成。戯曲講座や俳優向けのワークショップ、テクニカル講座等経てリーディング公演を行う。
世田谷パブリックシアター	東京都 世田谷区	20代・30代のための演劇ワークショップ	若い世代に、舞台芸術を通して生活を考える機会を提供	20代・30代の人々が集まって、自分たちが「いま」考えていること・感じていることを表現する演劇ワークショップ。
秩父宮記念市民会館	埼玉県 秩父市	中高生休日アート部屋(ルーム)	中学生、高校生がアーティストとふれあう機会の創出	アートや舞台芸術の分野で活躍している講師による、7日間の連続ワークショップ。中高生を対象に毎年開催。



4. 事業について

視点③子どもたちへの機会提供 文化芸術に触れる機会を提供し、 子どもの感性を育む

事例

施設名	設置者	事業名	目的	概要
北上さくらホール	岩手県 北上市	鬼っジョブ 北上おしごとパーク	子どもたちが地域の 大人と関わり、社会 体験を通じて生きる 力を育む	ホールが1日限りの「お仕事体験テーマ パーク」に。子どもたちが好きな仕事に チャレンジし、楽しみながら社会の仕組 みを学ぶ。 市内の様々な企業が協力し、体験ブース を作っている。
座・高円寺	東京都 杉並区	みんなのリトル 高円寺	子どもたちが遊びの 中で劇場・舞台芸術 に触れる機会を提供	劇場内がまるごと町を模した遊び場とな り、子どもたちが主役となって、自分で 遊びを発見する。ゴールデンウィークの 恒例となっている。
黒部市 国際文化センター コラーレ	富山県 黒部市	リトル・カルチャー クラブ	子どもたちが継続的 に文化活動を実践で きる場を提供	小中学生を対象とした文化クラブ。シン セサイザーだけの楽団「キーボードオー ケストラ」、コーラスグループ「ココロ 合唱隊」、劇団「ドラマキッズ」の3つ のクラブが活動している。



▲その他地域での事業実施イメージ

4. 事業について

視点④ 独自の文化を育む

歴史・文化資源を活かし
福知山ならではの文化を育む

事例

施設・団体名	設置者	事業名	目的	概要
豊岡市民プラザ	兵庫県 豊岡市	市民演劇プロジェクト	市民がプロと一緒に、 豊岡市ならではの作品を制作	劇作家が豊岡をリサーチし書き下ろした戯曲を、市民とプロと一緒に上演するプロジェクト。2016年より継続的に実施。
SPAC (静岡県舞台芸術センター)	静岡県	SPAC県民劇団	県民が県民の力で作品を創造し、公演を行えるよう制作面から支援	県民による劇団の立ち上げをサポート。生まれた劇団のひとつ「劇団静岡県史」は県内の歴史を題材に「歴史劇」を上演し、現在は独自に活動を行っている。
金沢歌劇座	石川県 金沢市	オーケストラ・アンサンブル金沢 金沢オペラ『滝の白糸』 『禅〜ZEN〜』など	地域の歴史・文化資源を活かし、一流のアーティストによる作品を制作	地域との繋がりが深い泉鏡花の小説や鈴木大拙の生涯をテーマとしたオリジナルのオペラ公演を、石川県と金沢市によって設立されたオーケストラにより上演。



4. 事業について

視点⑤ 地域との連携 他分野と連携し、まちを活性化していく

事例

施設名	設置者	事業名	目的	概要
いわきアリオス	福島県 いわき市	おでかけアリオス	様々な事情でホールまで足を運ぶことが難しい市民にコンサートやワークショップを届ける	2006年から市内の幼稚園、小中学校、支援学校や地域でのアウトリーチを重ね、2022年度には年間で85回、5,300人を対象に実施した。
茅野市民館	長野県 茅野市	縄文アートプロジェクト	地域の文化財をキーワードに、アートを介して市内の回遊を促進	市内の文化施設や民間施設と連携し、「縄文」をテーマにコンサートや展示等をおよそ40日間にわたって開催。
パルテノン多摩	東京都 多摩市	パルTAMAフェス	ホール周辺の商業施設や公園との連携により、広く、多くの方が作品を鑑賞できる機会を創出	最寄り駅からホールまでの大通りや周辺の公園、商業施設までを広く使った、音楽や演劇・ダンスを楽しむ2日間のフェスティバル。



▲その他地域での事業実施イメージ

4. 事業について

新文化ホールで考えられる事業例

①社会包摂

⑤地域との連携

○介護の現場で働く技能実習生と、介護を受ける方が一緒に参加できるダンスワークショップ

①社会包摂

②若い世代の参加

⑤地域との連携

○近隣の作業所と連携し、ホールや周辺地域を会場とした障害を持つ方々のアート作品展示や物品販売

①社会包摂

②若い世代の参加

③子どもたちへの機会提供

○文化系部活動の地域移行の受け皿として、中学生、高校生を対象とした吹奏楽部や演劇部、ダンス部等の設立

②若い世代の参加

④独自の文化を育む

⑤地域との連携

○高校・大学と連携し、学生を対象とした音楽、ダンス、演劇等のワークショップや作品創造

①社会包摂

③子どもたちへの機会提供

⑤地域との連携

○小中学校や福祉施設、市内中心部へのアクセスが難しい地域での音楽、ダンス、演劇等のアウトリーチ公演、ワークショップ

④独自の文化を育む

⑤地域との連携

○福知山市の歴史や伝説をテーマにしたオリジナル作品を創作する